

【教員住宅編】

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	若葉町教員住宅（10号棟）				
-----	---------------	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	203
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	教育総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	若葉町2丁目2番地 (北広島団地)	敷地面積	10,628 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和53年度
建物構造	RC	延床面積	1,589 m ²	経過年数	40年
階数(地上)	5階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	572,040千円	法定耐用年数	47年	市民1人当たり更新コスト	9,739円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態				
	13人	12人	人	13人	市直営				
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等			3,670	①施設維持コスト	修繕料		9
		国費			-		火災保険料		29
		道費			-		維持管理委託料		-
		その他			-		敷地借上料		-
		市費(一般財源)			-		工事請負費		-
	合 計				3,670	その他維持費		-	
					②施設運営コスト	小 計		38	
						人件費		-	
						光熱水費		-	
				運営委託料			-		
					その他運営費		-		
				小 計		-			
				合 計(①+②)		38			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	2,923円/人		1円/人		24円/m ²				



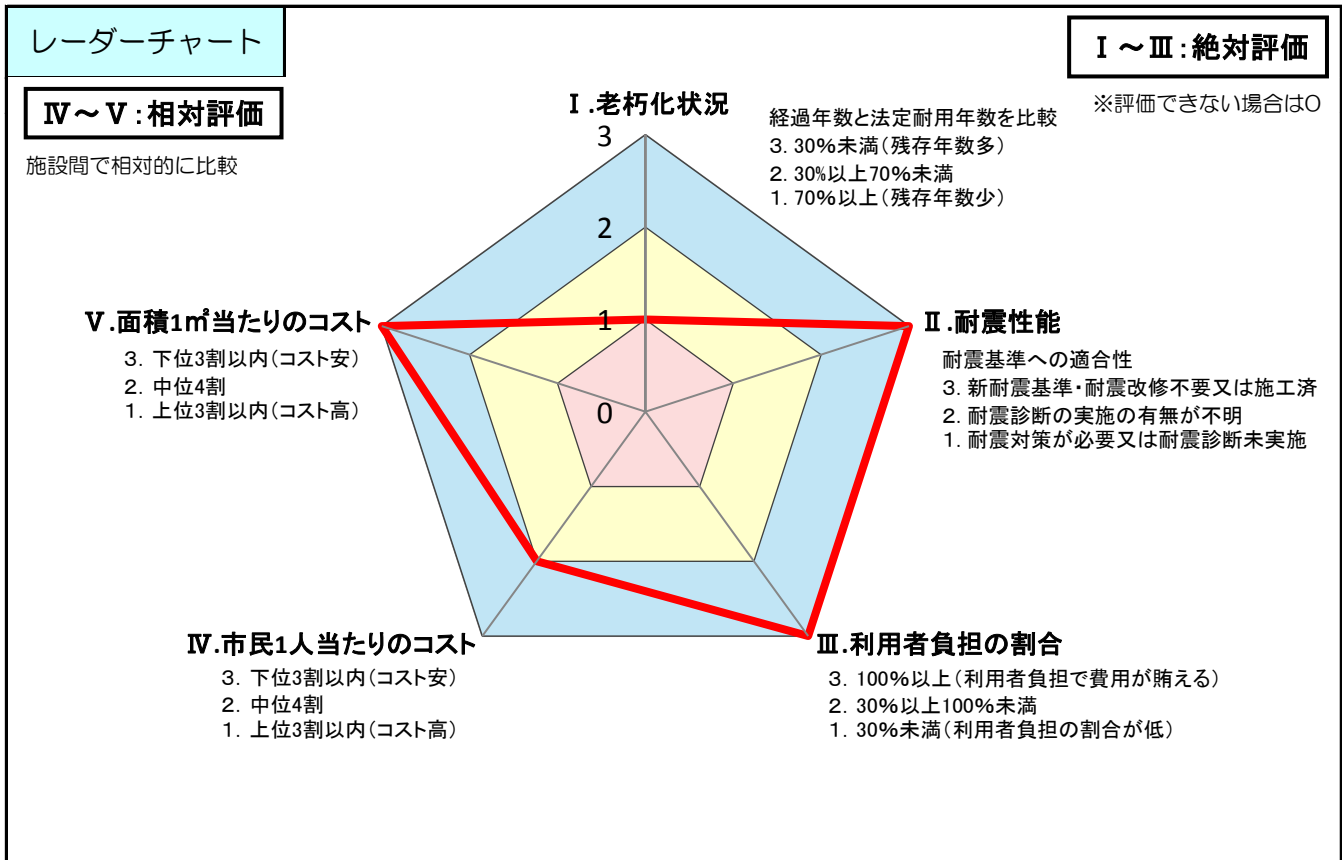
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H27	減圧弁設置	1,912			
H28	302・502・501・502・302・404104・101・204ほか修繕	1,021			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	85 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	9,658 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	24 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担で費用が賄える(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	若葉町教員住宅（11号棟）				
-----	---------------	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	204
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	教育総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	若葉町2丁目2番地 (北広島団地)	敷地面積	10,628 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	昭和53年度
建物構造	RC	延床面積	1,563 m ²	経過年数	40年
階数(地上)	5階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	562,680千円	法定耐用年数	47年	市民1人当たり更新コスト	9,579円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態							
	17人	16人	人	17人	市直営							
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)					
	収 入	利用料等		3,671		支 出	修繕料		1,136			
		国 費		-			① 施設維持コスト		火災保険料		29	
		道 費		-			維持管理委託料		-		-	
		その他		-			敷地借上料		-		-	
		市費(一般財源)		-			工事請負費		-		-	
	合 計		3,671		その他維持費		-		-			
	小 計		1,165		② 施設運営コスト		人件費		-			
	小 計		-		光熱水費		-		-			
	小 計		-		運営委託料		-		-			
小 計		-		その他運営費		-		-				
合 計(①+②)		1,165		合 計(①+②)		-		-				
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり							
単位コスト	68,529円/人		20円/人		745円/m ²							



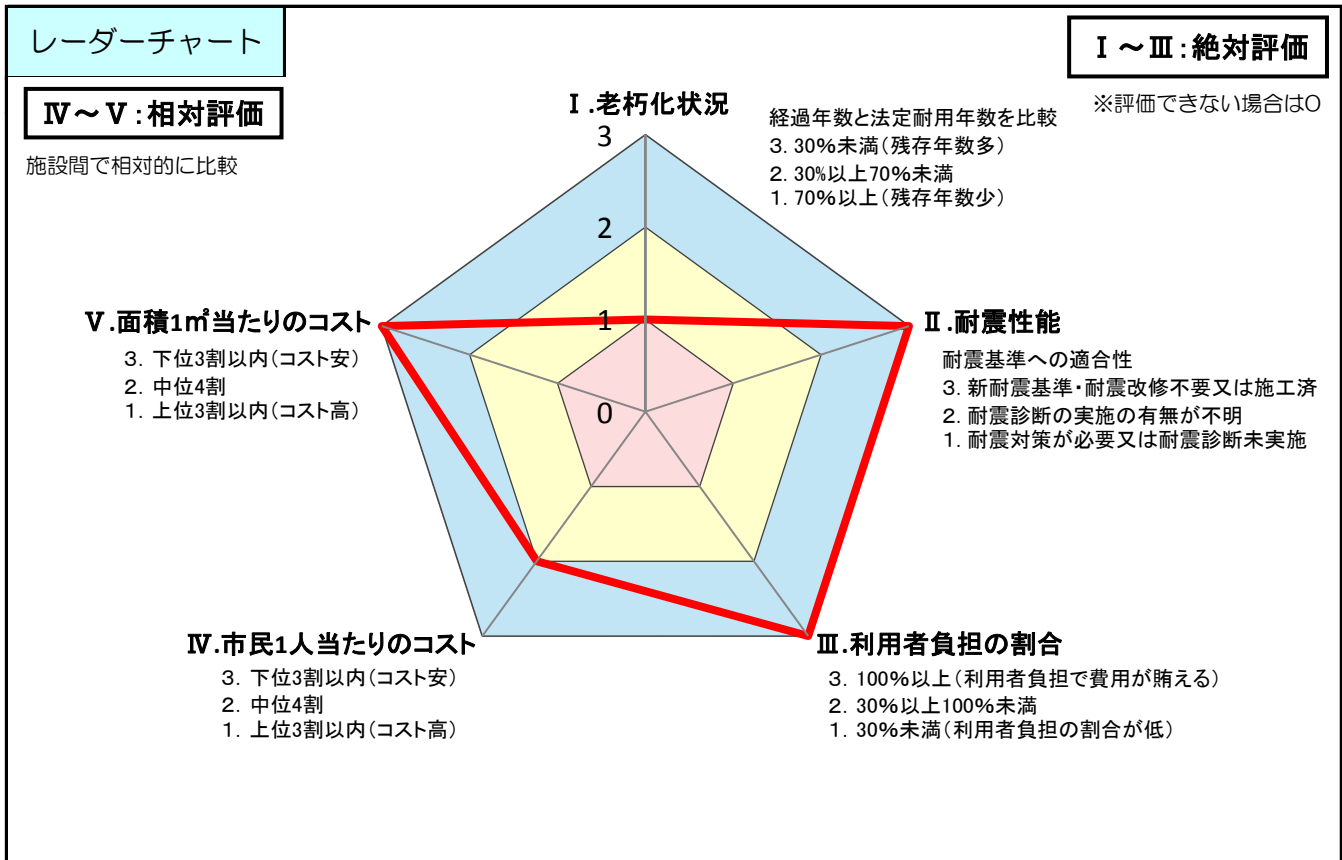
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H27	減圧弁設置	1,912			
H28	402混合栓修繕	42			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	85 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	315 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	20 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	745 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担で費用が賄える(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは低い(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	西の里小学校（校長宅）				
-----	-------------	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	205
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	教育総務課
------	-------


1 土地データ

所在地 (地区)	西の里401番地 (西の里)	敷地面積	5,046 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成9年度
建物構造	W	延床面積	85 m ²	経過年数	21年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	30,600千円	法定耐用年数	22年	市民1人当たり更新コスト	521円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	1人	1人	人	1人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等		3,670	支 出	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費		-		火災保険料	44	
		道費		-		維持管理委託料	-	
		その他		-		敷地借上料	-	
		市費(一般財源)		-		工事請負費	-	
	合 計			3,670	その他維持費	-	小 計	44
					②施設運営コスト	人件費	-	
					光熱水費	31		
					運営委託料	-		
その他運営費					-			
				小 計	31	合 計(①+②)	75	
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	75,000円/人		1円/人		882円/m ²			

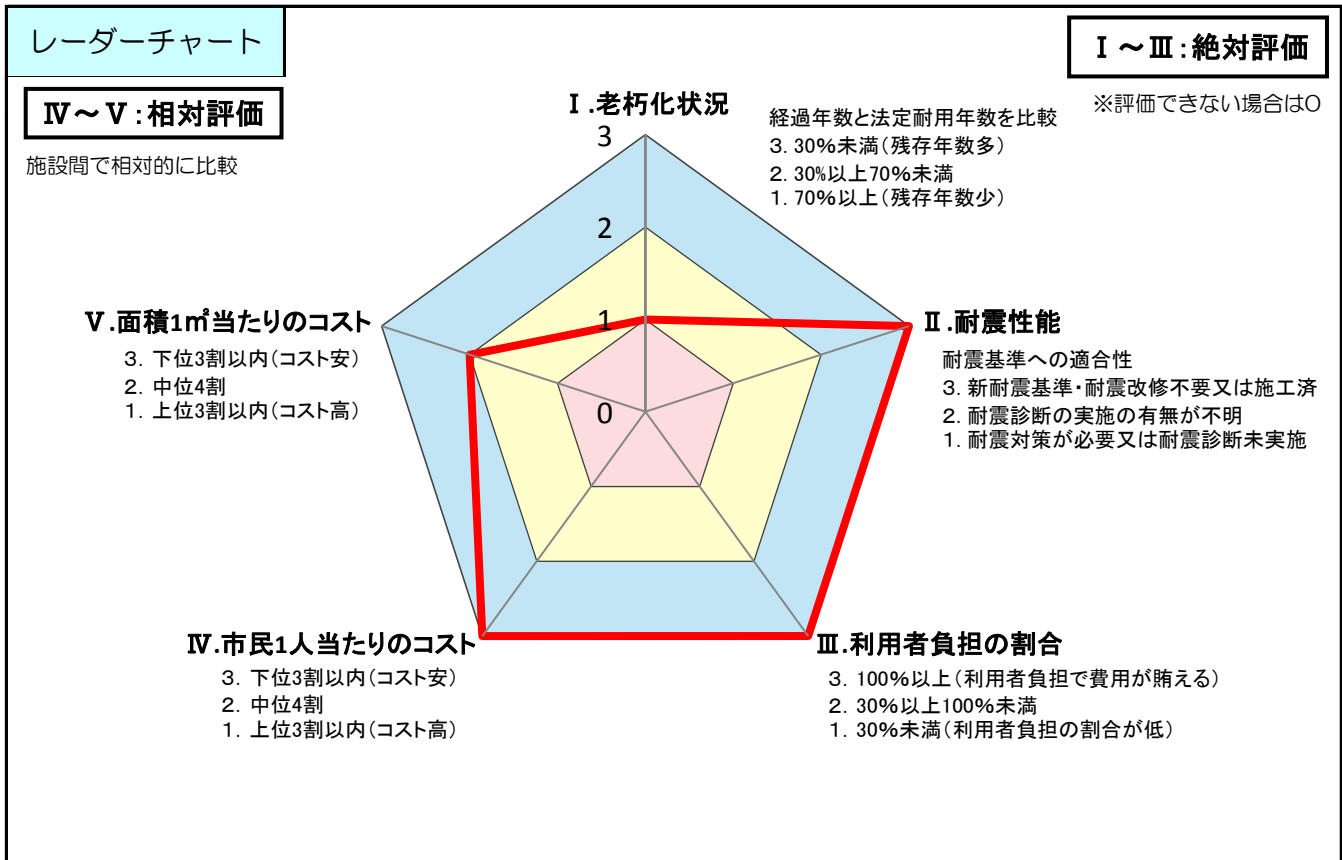
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>95 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>4,893 (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>1 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>882 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担で費用が賄える(III)。市民一人当たりのコストは低い(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	西の里小学校（教頭宅）				
-----	-------------	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	206
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	教育総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	西の里401番地 (西の里)	敷地面積	5,046 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成9年度
建物構造	W	延床面積	85 m ²	経過年数	21年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	30,600千円	法定耐用年数	22年	市民1人当たり更新コスト	521円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態					
	1人	1人	人	1人	市直営					
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)		内 訳		金額(千円)			
	収 入	利用料等		3,671		支 出	①施設維持コスト		-	
		国 費		-			修繕料		-	
		道 費		-			火災保険料		44	
		その他		-			維持管理委託料		-	
		市費(一般財源)		-			敷地借上料		-	
	合 計		3,671		工事請負費		-			
					その他維持費		-			
					小 計		44			
					②施設運営コスト		-			
				人件費		-				
				光熱水費		31				
				運営委託料		-				
				その他運営費		-				
				小 計		31				
				合 計(①+②)		75				
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり					
単位コスト	75,000円/人		1円/人		882円/m ²					



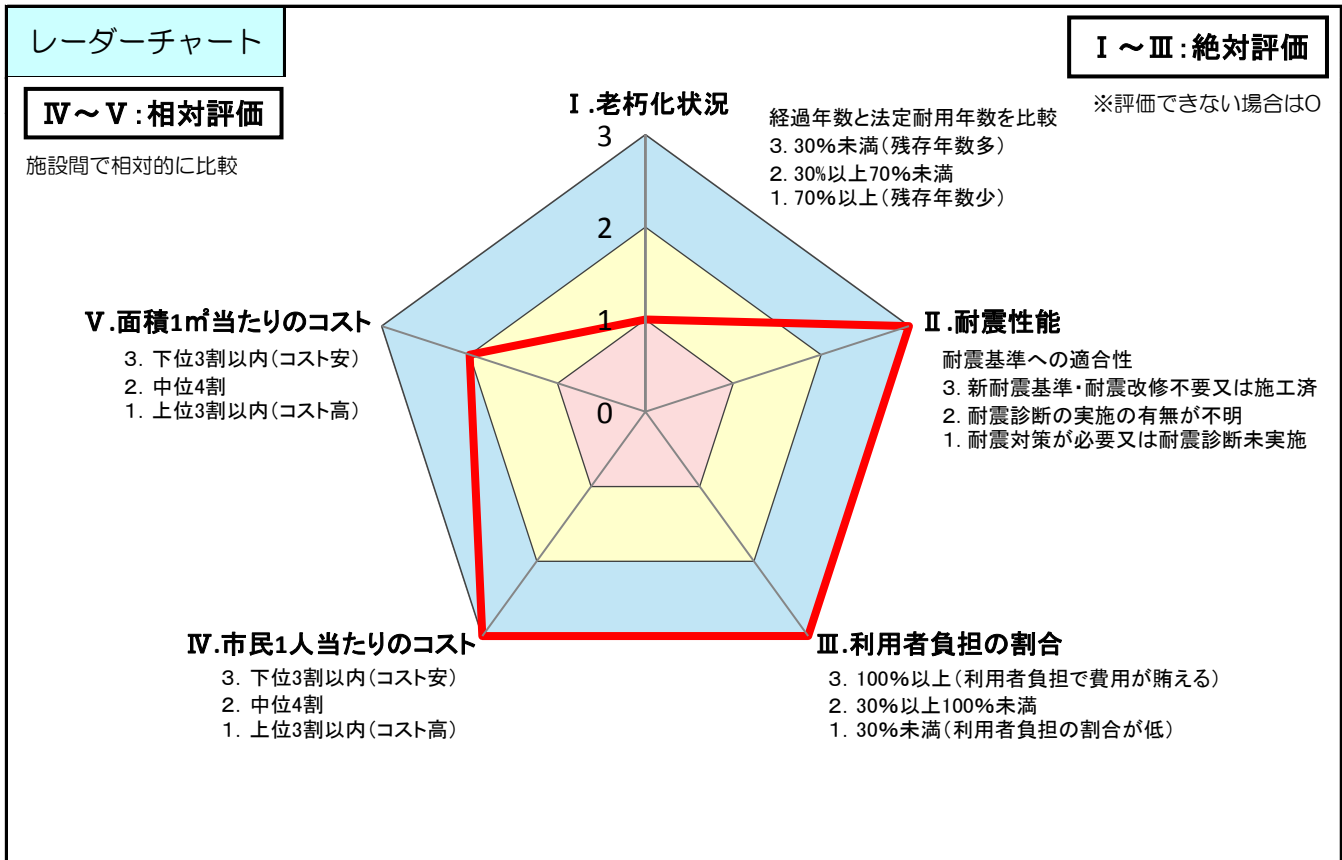
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>95 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>4,895 (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>1 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>882 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担で費用が賄える(III)。市民一人当たりのコストは低い(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	緑ヶ丘小学校（校長宅）				
-----	-------------	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	207
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	教育総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	高台町1丁目9番地	敷地面積	2,962 m ²
	(北広島団地)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成12年度
建物構造	W	延床面積	86 m ²	経過年数	18年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	30,960千円	法定耐用年数	22年	市民1人当たり更新コスト	527円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	1人	1人	人	1人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等			301	① 施設維持コスト	修繕料	-
		国 費			-		火災保険料	48
		道 費			-		維持管理委託料	-
		その他			-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)			-		工事請負費	-
	合 計				301	その他維持費	-	
					小 計	48		
					② 施設運営コスト	人件費	-	
						光熱水費	31	
				運営委託料		-		
				その他運営費	-			
				小 計	31			
				合 計(①+②)	79			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	79,000円/人		1円/人		919円/m ²			



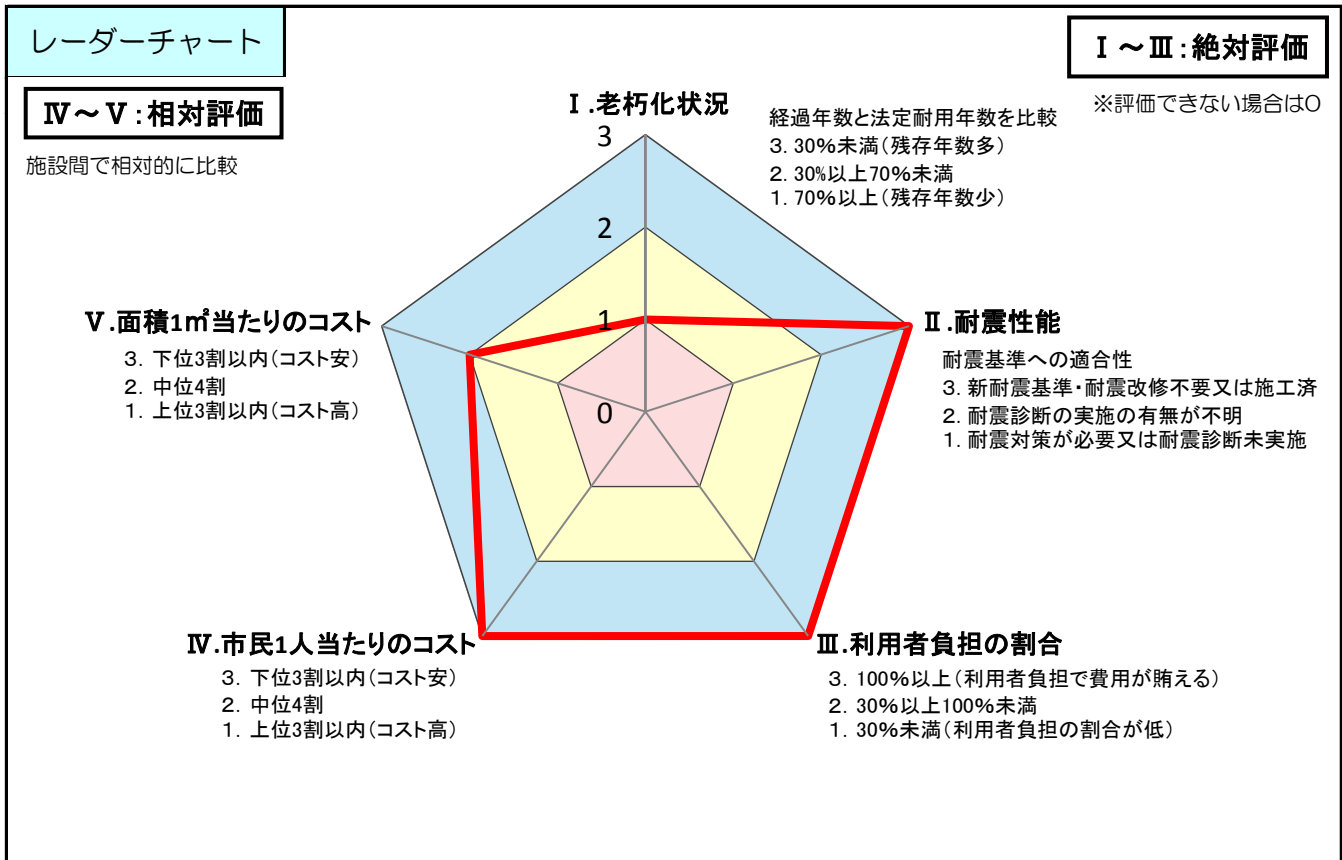
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	82 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	381 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	919 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担で費用が賄える(III)。市民一人当たりのコストは低い(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	緑ヶ丘小学校（教頭宅）				
-----	-------------	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	208
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	教育総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	高台町1丁目9番地	敷地面積	2,962 m ²
	(北広島団地)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成12年度
建物構造	W	延床面積	86 m ²	経過年数	18年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	30,960千円	法定耐用年数	22年	市民1人当たり更新コスト	527円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	1人	1人	人	1人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等			301	① 施設維持コスト	修繕料	-
		国費			-		火災保険料	48
		道費			-		維持管理委託料	-
		その他			-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)			-		工事請負費	-
	合 計				301	その他維持費	-	
					小 計	48		
					② 施設運営コスト	人件費	-	
						光熱水費	32	
				運営委託料		-		
				その他運営費	-			
				小 計	32			
				合 計(①+②)	80			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	80,000円/人		1円/人		930円/m ²			



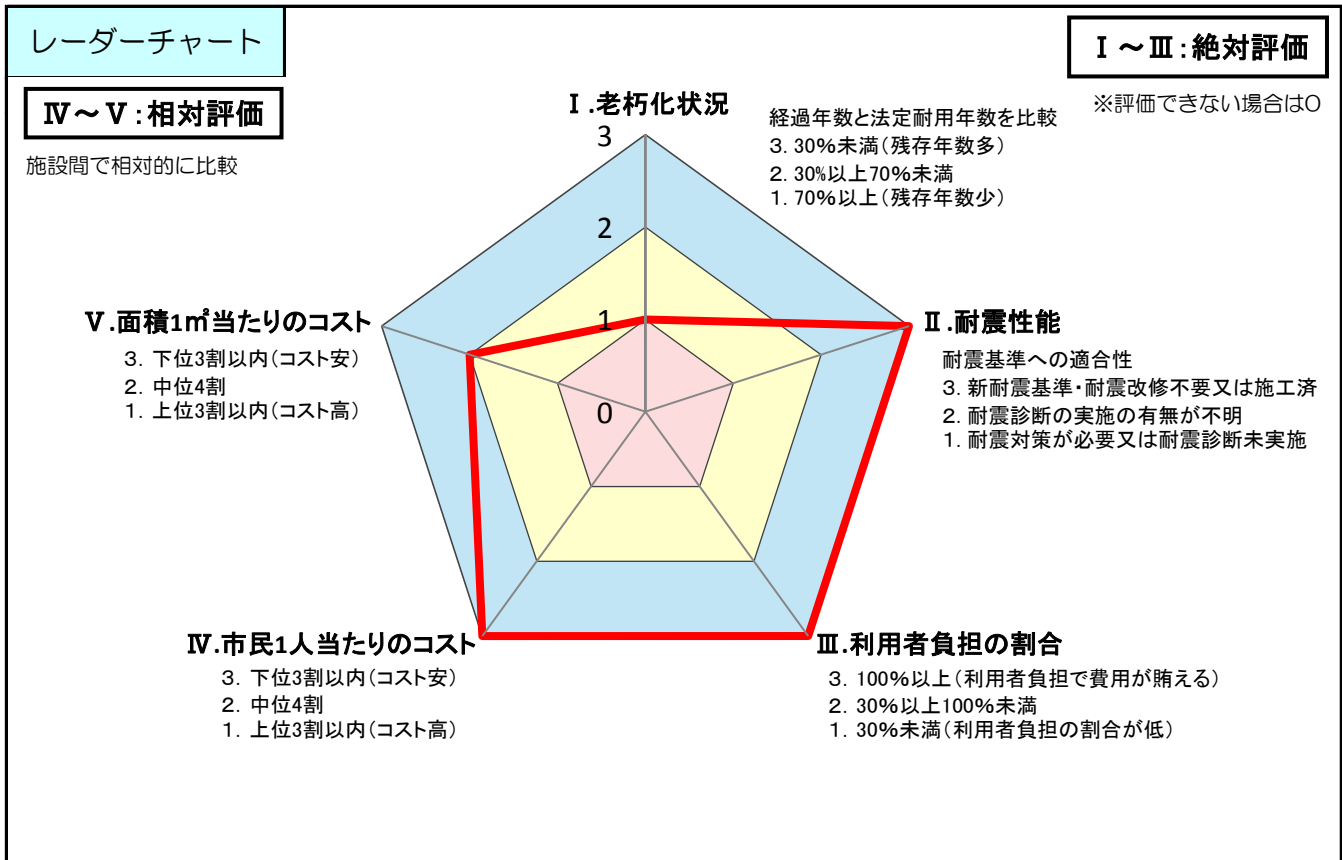
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)
H28	テレビアンテナ修繕	9			

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	82 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	376 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	930 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担で費用が賄える(III)。市民一人当たりのコストは低い(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	双葉小学校（校長宅）				
-----	------------	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	209
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	教育総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	若葉町3丁目12番地	敷地面積	28,719 m ²
	(北広島団地)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成11年度
建物構造	W	延床面積	85 m ²	経過年数	19年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	30,600千円	法定耐用年数	22年	市民1人当たり更新コスト	521円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	1人	1人	人	1人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等			309	①施設維持コスト	修繕料	-
		国費			-		火災保険料	47
		道費			-		維持管理委託料	-
		その他			-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)			-		工事請負費	-
	合 計				309	その他維持費	-	
					小 計	47		
					②施設運営コスト	人件費	-	
						光熱水費	32	
				運営委託料		-		
				その他運営費	-			
				小 計	32			
				合 計(①+②)	79			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	79,000円/人		1円/人		929円/m ²			



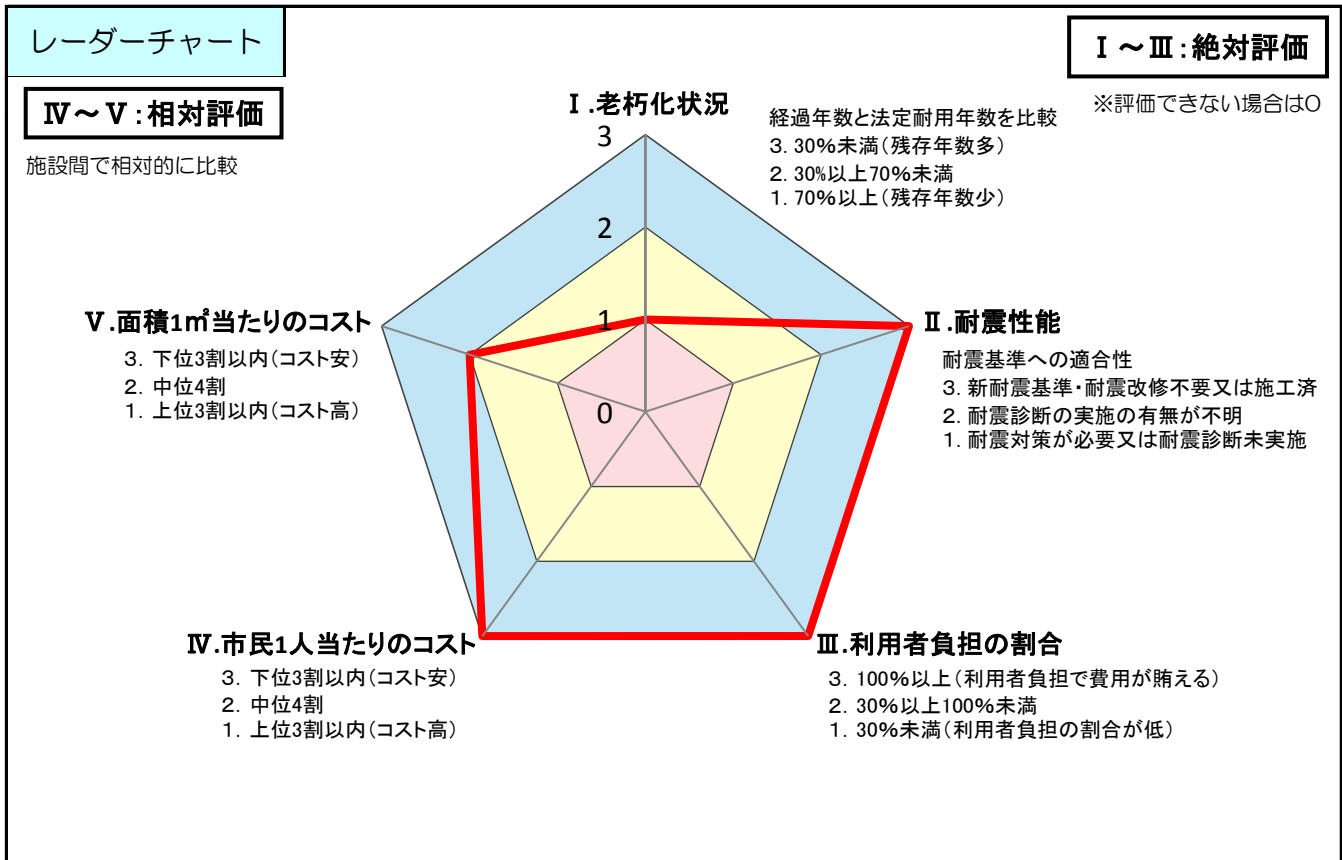
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	86 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	391 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	929 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担で費用が賄える(III)。市民一人当たりのコストは低い(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	双葉小学校（教頭宅）				
-----	------------	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	210
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	教育総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	若葉町3丁目12番地	敷地面積	28,719 m ²
	(北広島団地)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成11年度
建物構造	W	延床面積	85 m ²	経過年数	19年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	30,600千円	法定耐用年数	22年	市民1人当たり更新コスト	521円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	1人	1人	人	1人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)	
	収 入	利用料等			309	① 施設維持コスト	修繕料	-
		国費			-		火災保険料	48
		道費			-		維持管理委託料	-
		その他			-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)			-		工事請負費	-
	合 計				309	その他維持費	-	
						小 計	48	
						② 施設運営コスト	人件費	-
							光熱水費	32
				運営委託料	-			
				その他運営費	-			
				小 計	32			
				合 計(①+②)	80			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	80,000円/人		1円/人		941円/m ²			



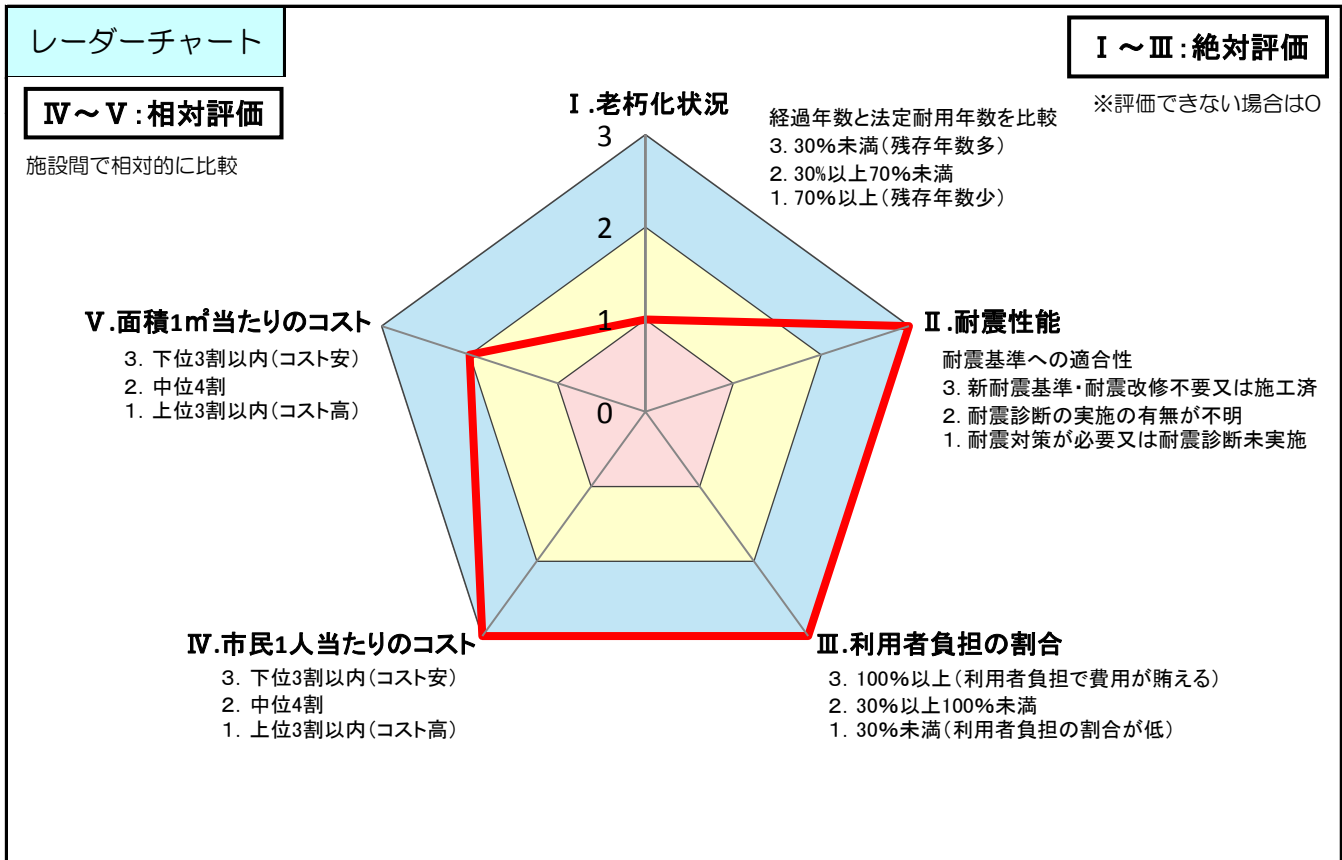
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標(%)</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数)</p> <p>数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	86 (%)
II. 耐震性能	<p>建物の耐震安全性を示す</p> <p>耐震性能の有無と対策の必要性を表示</p> <p>耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	耐震性能あり
III. 利用者負担の割合	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト)</p> <p>数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	386 (%)
IV. 市民1人当たりのコスト	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷人口</p> <p>数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	1 (円/㎡)
V. 面積1㎡当たりのコスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標</p> <p>支出合計÷延床面積</p> <p>数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	941 (円/㎡)
総合評価	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。</p> <p>利用者負担で費用が賄える(III)。市民一人当たりのコストは低い(IV)。</p> <p>市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	広葉中学校（校長宅）				
-----	------------	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	211
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	教育総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	広葉町5丁目1番地 (北広島団地)	敷地面積	36,654 m ²
		うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成10年度
建物構造	W	延床面積	88 m ²	経過年数	20年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	31,680千円	法定耐用年数	22年	市民1人当たり更新コスト	539円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態				
	1人	1人	人	1人	市直営				
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内 訳		金額(千円)	支 出	内 訳		金額(千円)		
	収 入	利用料等			307	①施設維持コスト	修繕料		-
		国費			-		火災保険料		46
		道費			-		維持管理委託料		-
		その他			-		敷地借上料		-
		市費(一般財源)			-		工事請負費		-
	合 計				307	その他維持費		-	
					小 計		46		
					②施設運営コスト	人件費		-	
						光熱水費		31	
				運営委託料			-		
				その他運営費		-			
				小 計		31			
				合 計(①+②)		77			
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり				
単位コスト	77,000円/人		1円/人		875円/m ²				



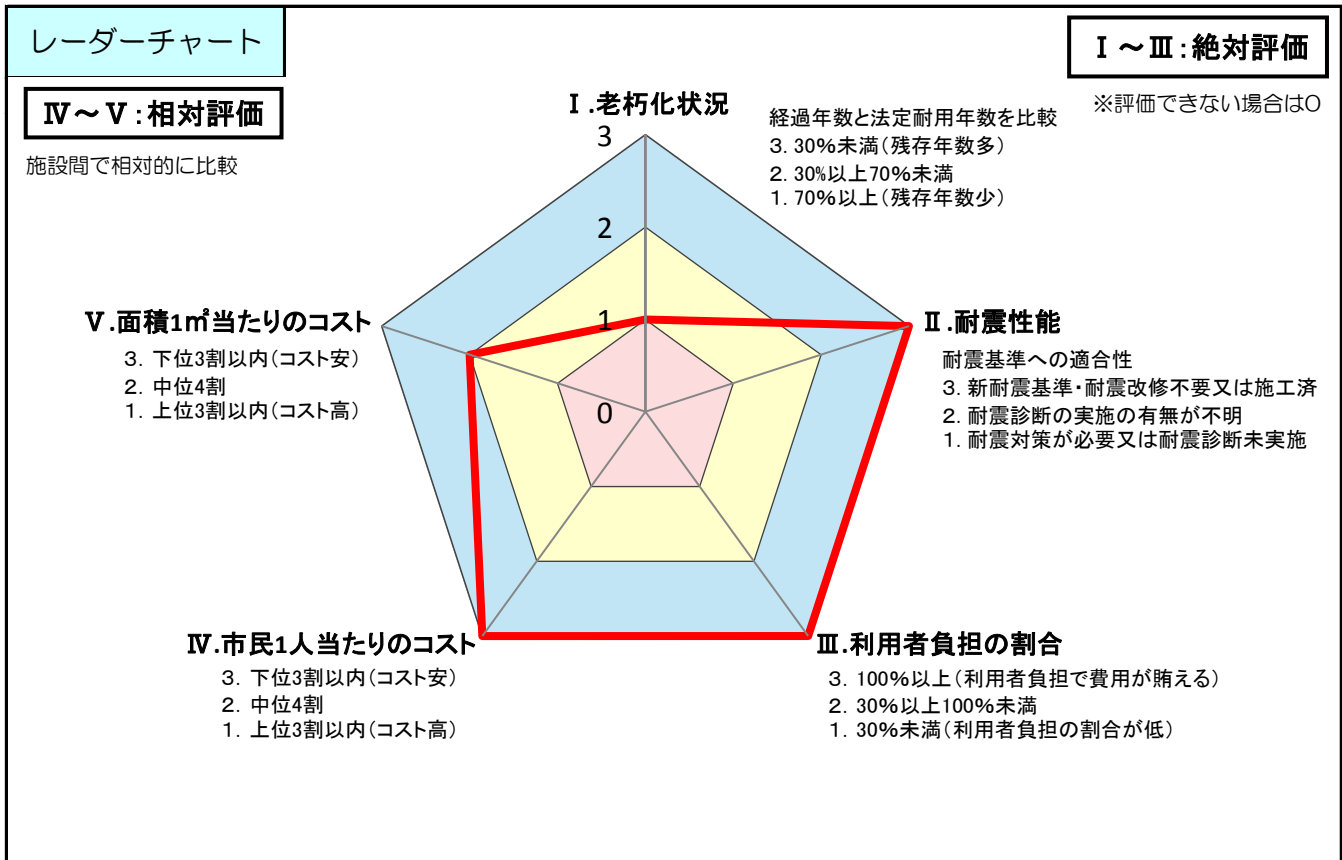
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダーチャートで示す5つの指標

<p>I. 老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標 (%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>91 (%)</p>
<p>II. 耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III. 利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>399 (%)</p>
<p>IV. 市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>1 (円/㎡)</p>
<p>V. 面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>875 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担で費用が賄える(III)。市民一人当たりのコストは低い(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	

北広島市 公共施設カルテ

調査実施年度 平成30年度

施設名	広葉中学校（教頭宅）				
-----	------------	--	--	--	--

大分類	その他	中分類	その他	施設番号	212
-----	-----	-----	-----	------	-----

所管部課	教育総務課
------	-------

1 土地データ

所在地 (地区)	広葉町5丁目1番地	敷地面積	36,654 m ²
	(北広島団地)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ

複合・併設施設	-			建築年度	平成10年度
建物構造	W	延床面積	88 m ²	経過年数	20年
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し
概算更新コスト	31,680千円	法定耐用年数	22年	市民1人当たり更新コスト	539円/人

3 管理運営データ

利用状況	H28年度	H29年度	H30年度	平均利用者数	管理形態			
	1人	1人	人	1人	市直営			
ファシリティコスト 平成29年度分 施設コスト ①施設維持コスト 建物を良好に保つために要する経費 + ②施設運営コスト 公共サービスを提供するために要する経費	内訳		金額(千円)	支	内訳		金額(千円)	
	収	利用料等			307	①施設維持コスト	修繕料	29
		国費			-		火災保険料	48
		道費			-		維持管理委託料	-
		その他			-		敷地借上料	-
		市費(一般財源)			-		工事請負費	-
	合計				307	その他維持費	-	
						小計	77	
	出	②施設運営コスト				人件費	-	
		光熱水費			31	運営委託料	-	
その他運営費			-	小計	31			
合計(①+②)			108					
コスト計算	平均利用者数1人当たり		市民1人当たり		延床面積1m ² 当たり			
単位コスト	108,000円/人		2円/人		1,227円/m ²			



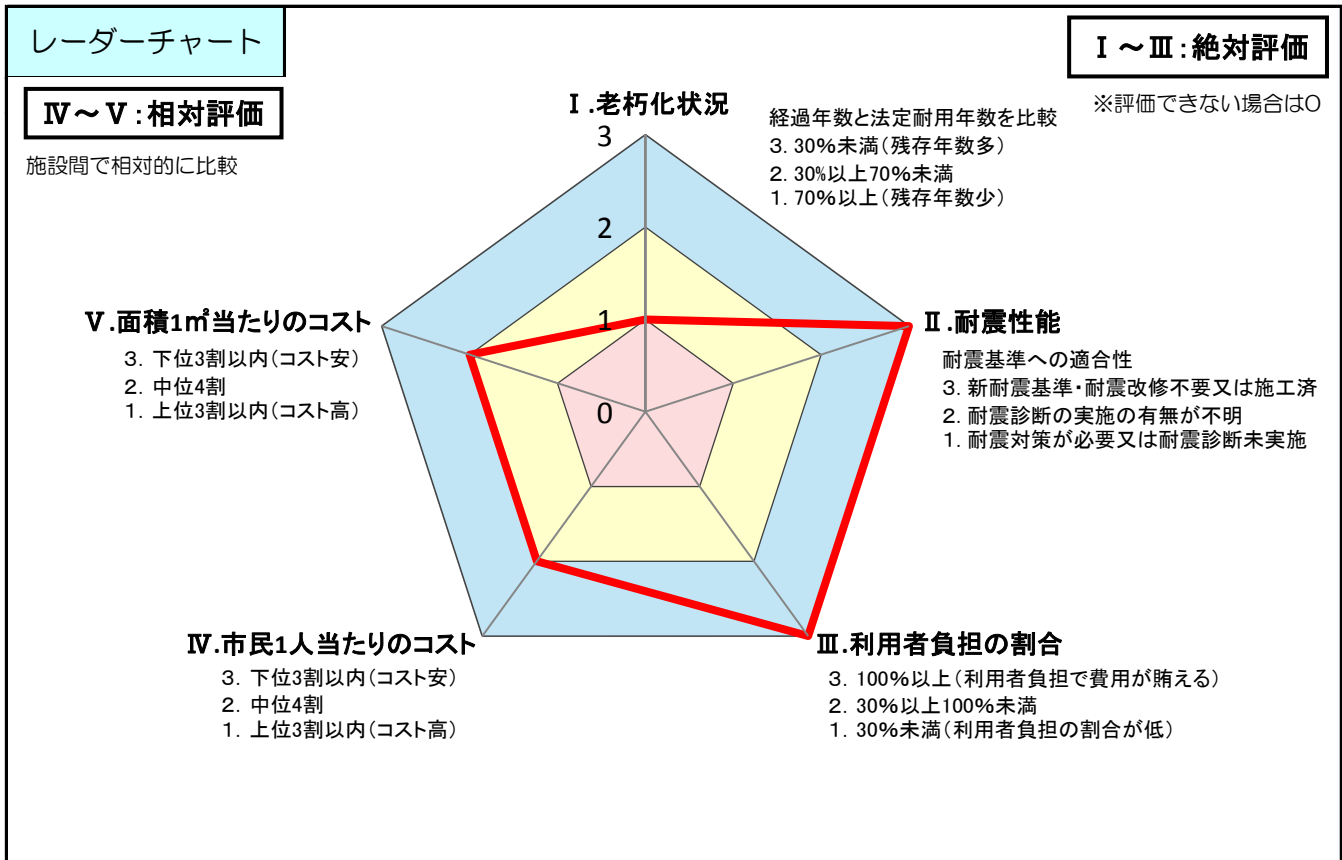
4 修繕履歴

実施年度	内容	工事費(千円)	実施年度	内容	工事費(千円)

5 特記事項

--

6 データ分析



レーダチャートで示す5つの指標

<p>I.老朽化状況</p>	<p>建物の老朽化を示す指標(%) 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率を%表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。</p>	<p>91 (%)</p>
<p>II.耐震性能</p>	<p>建物の耐震安全性を示す 耐震性能の有無と対策の必要性を表示 耐震性能あり：新耐震基準で建設されているか、診断結果で対策不要か 対策実施済。</p>	<p>耐震性能あり</p>
<p>III.利用者負担の割合</p>	<p>ファシリティコストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷ファシリティコスト(施設維持管理コスト) 数値が高いほど、利用者負担の割合が高く、収支のバランスが取れている。 利用料等が発生しない施設は1、ファシリティコストが発生しない施設は3。</p>	<p>284 (%)</p>
<p>IV.市民1人当たりのコスト</p>	<p>市民1人当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷人口 数値が高いほど、市民一人あたりが負担する金額が大きくなっている。</p>	<p>2 (円/㎡)</p>
<p>V.面積1㎡当たりのコスト</p>	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持管理にかかるコストを示す指標 支出合計÷延床面積 数値が高いほど、施設規模に比べて施設維持・運営にコストがかかっている。</p>	<p>1,227 (円/㎡)</p>
<p>総合評価</p>	<p>経過年数から老朽化が進んでいると判断(I)。耐震性能を有している(II)。 利用者負担で費用が賄える(III)。市民一人当たりのコストは標準的(IV)。 市内全施設の相対的な比較では、㎡あたりの施設維持コストは標準的(V)。</p>	